

桜井辰雄先生選評



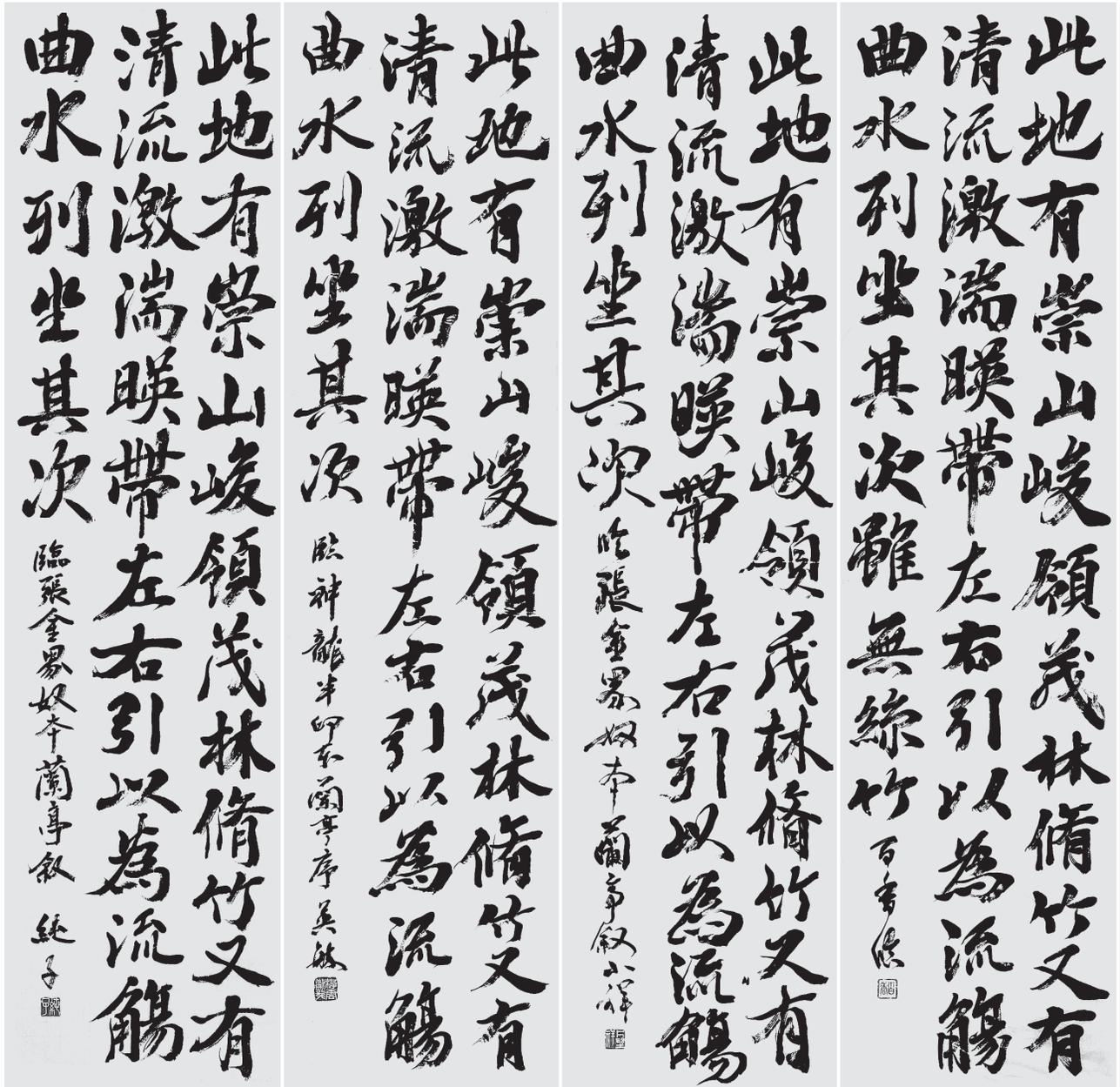
池崎 理恵子 推薦
 本来は下部の運筆に見られるような隷書の揮毫を愉しめる方なのだろう。参考作品と真摯に向き合ったために少々縮こまった感もあるが、黒と白が響きあった安定感ある作になった。

宮下文恵 推薦
 下部を萎縮させたかのように一気呵成に書き上げた上部の清々しくも豪快な運筆に目を見張る。下部や詞書に文字内の拮がりが加わると雄大さも増大しそう。

圖師 杏子 推薦
 筆を沈め、浮かし、滑らせ、食い込ませ…と自在に操り、字形を右上がりにして動的な重厚感を出している。右払いの類似性と落款の配置には再考を願いたい。

本多 涌泉 推薦
 伸びやかな書線を用いて参考作品の再現に努めつつ、独自性への挑戦も怠らない作品作りに好感。ひらがなも太くし、詞書と鷗亭句は離しては如何だろうか。

加藤有鄰先生選評



大竹百香 推薦
墨量豊かに堂々として意志的であり、線に余裕と自信が窺える作品です。湯筆部も柔らかに運筆しており、日頃の研鑽の成果が現れた。

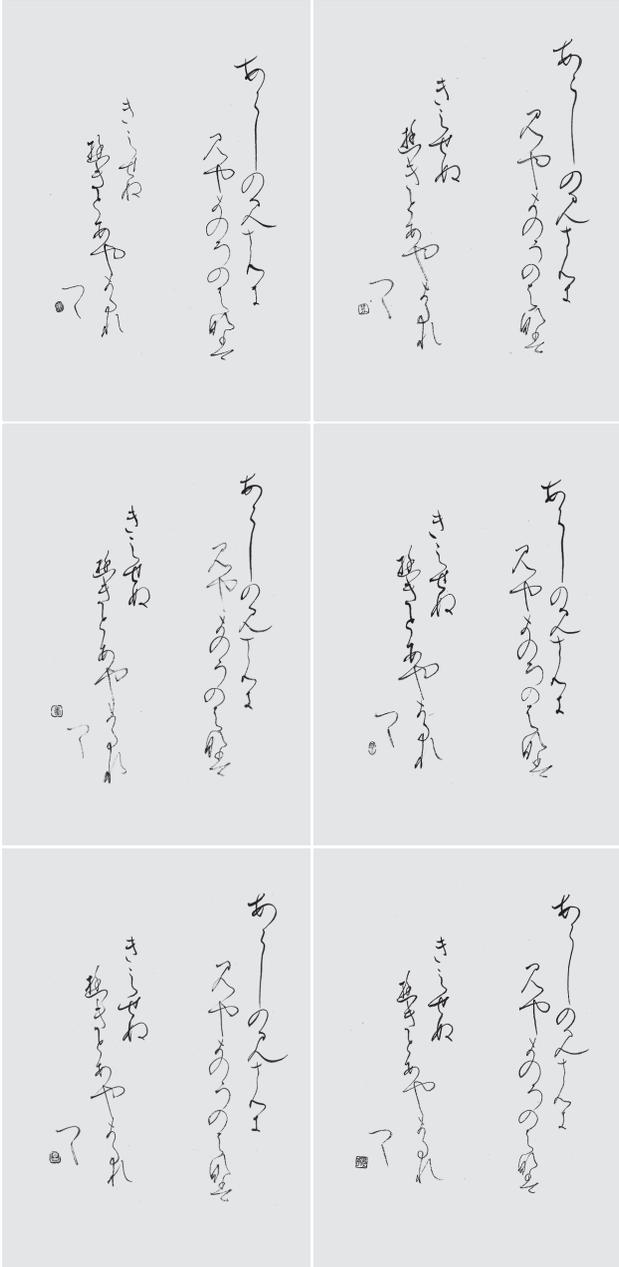
片野小祥 推薦
原帖を良く理解し、遠くより筆を導き、縹渺としたところ、伸びやかさと強さをよく表現されています。下部がややつまり気味になったのが残念です。

高橋田英敏 推薦
筆を柔らかく握り、適度に線の強さを織り交せて品格高い作品としました。遠くより筆を運び、遠勢が利いており、余白が美しく全体を響かせています。

丸山純子 推薦
穏やかで緩やかに線を運びながらも、減張のある線を用いて情趣溢れる作としました。熟練の成果がでています。

露崎桂子先生選評

吉澤真理先生選評



東谷 美子 準八
細い線が紙面にく
い込むしっかり
とした線条で、要所
をよく捉えた臨書
日頃の練度が窺え
ます。潤濁の変化
も自然ですが、印
はやや離して。

時岡 寿代 七段
すっきりとした動
き、リズムを良く
捉えています。確
かな読み取りと、
正確な運筆が光り
ます。迷いのない、
楽しさの伝わって
くる作品です。

小早川里香 準六
大らかな運筆で実
に伸び伸びと書け
ています。一行目
の出だしがやや大
きくなりました。
濁筆部分を更に生
かすと表情豊かな
作品になります。

井出 翠風 師範
温かな筆線で大ら
かに書かれており、
原帖を良く捉えて
います。四行目の
連綿も美しい。も
う少し、自由奔放
な筆致が加味され
るとさらに佳。

枝長 真美 師範
規定手本を忠実に
捉えていて、原帖
の呼吸が伝わって
くる様なリズムが
あります。躍動感
が魅力的な作。四
行目と「つ、」をや
や離したい。

廿日出翠華 八段
細い線をなめらか
に表現しています
が、文字中の細太
の変化にも留意し
ましょう。スピー
ド感のある運筆を
心がけると原帖に
近づきます。

中嶋 イチ子 推選
紙へのくい込み良く粘り強
い筆勢が印象的です。運筆
速度の変化で生み出される
多様な線。濃いめの墨色と
相俟つての表現は趣深い。

松下晃子 推選
筆の弾力を駆使した緊張感
ある線条は凛とした空気を
漂わせご自分の世界を創り
あげています。全体の収ま
り良く品位ある作となりま
した。

葛西玄涛先生選評



鈴木淳子 七段
始筆から終筆まで、心を込めて、一貫したリズムで書かれています。終筆の圧力加減が絶妙で、右の空間を引き裂く波瀾の美しさ、余白に響く。

関村吟香 師範
全ての線が、紙にしっかりと浸透して、艶を出しています。細い線であっても蔵鋒と直筆で書かれる技術の高さを見せ、高級感に溢れています。

岸根進溪 準八
筆の毛の弾力を活かして、筆運びの速度と圧力を細かく変化させて書かれています。力まずに自然な腕の動きの線が、終始見られて感動します。

渡部浩美 師範
伸びやかな線が、紙面いっぱい線に広げられて、大空間を支配したかのようだ。臨書として、細かな観察をしながらの制作取り組みの理想型。

小田利美 準五
紙面に大きく広がる文字は、左右に伸びやかな線による効果です。大きな構えから、腕の動きにゆとりがあり、単純明快な書き方がとても良い。

鈴木絲香 師範
凝視すると、味わいの異なる線がたくさんあります。一本の線の中にも強弱、遅速の変化があり、楽しくなります。静寂な空気の自然美もある。

吉川抱雲 準七
真面目に文字を書くことに取り組んでいらつしやるのが伝わってきて好感を持ちます。優しい線が明朗爽快なので、さらに高揚していきます。

平岡幽琴 師範
繊細な線に魅せられる。優しくフワッと温かい直筆の円い線が、包容力を高めている。じつくりと鑑賞すると、多くの味わいが染み出てきます。

長野克己 準二
長い線は重厚、短い線は繊細に表現されています。この調査でも互いに共生し、澆潤としています。この方向で、多種の線を研究してください。

前久美子 八段
びりつと緊張感の強い短い線と遠くどこまでも伸びていく長い線が、互いに尊重して格調高い作品を誕生させました。豊かな感性を持たれています。

吉田真理 準四
ゆつくりと丁寧な運筆を終始されています。安定した臨書となり、書の学習の基本に忠実です。これに応用を加えて楽しく勉強を続けましょう。

桜井信吉 準八
力強く、骨太の逞しさを感じます。これだけ強い線で堂々と自信を持って書かれると、誰からも羨望される作品が次々と誕生する勢いがある。